



隔膜式圧力計を改良 アクア・テクノス

【さいたま】アクア・テクノス(埼玉県三郷市、森克夫社長、048・955・1134)は、隔

膜式圧力計(写真)を改良して4月1日に発売する。指針範囲を確認するマークを取り付け、化学薬品のガスによる腐食を防ぐ保護カバーを本体部分に装着した。両面表示型が1万3000円、片面表示型は1万1000円で、年間1万2000台の販売を目指す。

隔膜式圧力計はメッキ装置やエッチング装置などに設置し、ポンプや配管内の圧力を0・6^{メガ}まで測定。これまでは耐久性の向上には、本体の部品にチタンを採用するなどしてきたが、保護カバーで対応する。隔膜には、耐酸・アルカリ性のフッ素樹脂を使用した。アクア・テクノスは配管内に固着したさびや物質を除去する電磁式水処理器、断熱用や脱水型防錆用の塗料も製造している。